

大震災における安否確認システムについての提言

大変な震災で、大変心を痛めております。何か出来ないか？といつも考えています。官邸含めて、政府関係者も必死に対応作業を進めていると思いますが、混乱状態に有るよう見えます。官邸にも提案をしています、読んでいるとも思えません。今日のNHKテレビで、先生の提言（被災していない自治体が、被災した自治体を支援する提言）に感銘を受け、このメッセージを先生に送らせて頂きます。

人探しに関しての提案です。避難所での声で、食料、燃料、飲料、その他の物資の不足が、依然として起きていますが、それに加えて、皆が口をそろえて言っているのは、情報の不足です。情報といってもさまざまと思いますが、何より欲しい情報は、身内・友人・関係者の安否情報だと思います。避難所に貼られた名前を確認されている姿や、あちこちあてどなく、人を探している姿を良く見ます。本当に、胸が痛みます。ご存じのとおりグーグルが、人探しのサイトを立ち上げています。

<http://japan.person-finder.appspot.com/?lang=ja>

このサイトは非常に良く出来ています。このサイトを国として全面的に利用してはいかでしょうか？既に自治体がホームページ等で、安否情報を掲示したり、その他にも安否情報に関する動きはありますが、統一した物が設定されていません。全ての情報が繋がる仕組みが必要です。今から、何か作るより、このグーグルのしくみを利用するのが、手っとり早いし、現実的です。今後、被災者があちこちへ移動していく中で、ますます所在がつかみにくくなると思います。助かっているのに、その事がわからず、お互い知る事が出来ない状況だけでも避けて、精神的苦痛を和らげる事が出来ないか、と考えます。ネットという特殊性から、使える方が限られたり、個人情報の管理という側面も生じるかと思えます。そこで、ボランティアを活用して、避難所にいる人、あるいは被災地にいる人を、片っぱしから登録していく。その上で、所在が動く時も、フォローアップし続ける。例えば、100人を一人のボランティアが担当し、必要に応じて、その他の情報も提供する。いわば、情報支援ボランティアです。地域の災害本部や、自治体も、この安否確認、所在確認に、相当な労力をかけていると思いますが、それも軽減する。政府からグーグルにきちんと依頼し、協力を得て、進めれば良いと思います。グーグルは、必ず協力するでしょう。その上で、政府が“安否情報をこのサイトに統一する”と明確に宣言し、支援体制も作る。こういう事が進められたら、喜んでボランティアする人は、私も含めて、沢山いると思います。別の方法として、いくつかのしくみ（例、Yahoo, Docomo、）を連携するという方法もあると思います。ぜひとも何らかのシステムが立ち上がるために先生の研究所からも提言等して頂きますと幸いです。（園田正和）